

すくわく実践記録

- 2歳児 にじ組 2025年11月26日～
- テーマ 自然 「もぐらのお家をみつけたよ ～荒川土手～」
- ねらい 「土手の散歩でいろいろなものを発見する」

荒川土手に散歩に行ってきました！



みんなで土手の探索です。虫いるかなあ～ 秋から冬への移り変わりを日々の散歩で感じます。



「ねえねえ！水色発見したよ～」嬉しそうにとまっていた。「これはな～に？」と不思議な発見。色々なものが気になる時期ですね。「これな～に？」「どうして？」「なんでなの？」がたくさん聞こえてきます。



もぐらの穴と通った道を発見。興味深々にじっと見つけたり掘ったりしていました。もぐらには会えませんでした。ミミズとご対面♪

～振り返り～

荒川土手に散歩に行ってきた。のんびり探索しているともぐらの穴と通った道を発見！興味津々に覗き込んだり掘ってみたり…「大きなモグラがでてくるんだよー」と身振り手振りをそえて周りに知らせる。鳩の大群を見つけるとみんなが一斉に走り出し鳩が慌てて飛び立つ様子もみられた。

すくわく実践記録

- 2歳児 にじ組 2025年12月2日(火)～
- テーマ 自然 「もぐらに会いたい ～荒川土手～」
- ねらい 「もぐら探しを楽しみながら探検隊になり切って遊ぶ」

にじぐみ もぐら探検隊！



土が盛り上がっている場所を見つけると「もぐらのお家あったよ～」と駆け寄っていく子ども達。会いたい気持ちと出てきたらどうしようという気持ちが交錯しながら、恐る恐る土を掘っていく。今日は掘り進めると「モグラの爪だー！」と叫ぶ。ピンク色の何かを見つけると「これは鼻じゃない？」と思ったことを伝え合う。

土の中にモグラの爪があったことで道路の白い何かの跡を見つけて「ここはもぐらがガリガリ～ってやったんだよ」「本当だ」と、見たことや想像で子どもの世界が広がっていきます。



コンクリート割れ目ももぐらのお家に見えてくるようだ。「ここはカチカチだから出てこれなかったんだね」「じゃあ、あっちに行ったのかも！」と土の方を見に行っていた。子どもの知っている知識で様々な推測や予測をしている姿が見られた。



先日土手に散歩に行ってからモグラ一色の子ども達に図書館で絵本を借りてきたり写真を印刷したりした。話や写真を見ることで想像の世界がどんどん広がっていく。もぐらの穴の中に興味を示したり入ってみたい気持ちが芽生えたりしている。

～振り返り～

今日は前週に続き、土手にモグラ探しに行った。モグラに出会えるかもしれないワクワクと本当に出てきたらどうしよう…のドキドキが入り混じりながら探検を楽しんでいる姿が見られた。この年齢の探検遊びは、本当の世界と空想の世界を行ったり来たりしながら楽しむ姿があった。保育士も一緒になって子どもの世界に入り込み、しばらくモグラ探検を楽しんでいきたいと思う。